

# 5月・6月の管理ポイント

5月は日光が非常に強く、6月中には多くの地域が梅雨入りします。  
本格的にストレス対策が必要な季節になりました。  
芝生の生育しやすい環境を整え、夏越し対策を行いましょ。



根の生育しやすい  
土壌環境を整えましょ

## レボ

近年は梅雨に加え、台風やゲリラ豪雨などの短時間での大量降雨が増えています。レボは排水性が高く表層土壌の水分値を低めに保つため、過湿状態になりがちな降雨後にも気相をしっかり保ちます。定期散布を行い根の生育しやすい土壌環境を整えましょ。ドリスポット対策にはバイタルドロップ、液肥などとのタンクミックスにはグリーンシナジー、スポット処理には手播きしやすい粒剤タイプのハイドレーターGがおすすめです。

使用量：2ml/m<sup>2</sup>/月 散布水量：200ml~500ml/m<sup>2</sup> 散布回数：1ヶ月に1回~2回



光合成だけでは足りない  
養分の補給に

## グリーンメカ

梅雨時期には過湿による酸欠と日照不足が重なるため、芝生がエネルギー不足になりやすい時期です。貯蔵養分を使い込む前に、糖・アミノ酸・ミネラルたっぷりのグリーンメカで足りないエネルギーを補給ましょ。

使用量：2~10ml/m<sup>2</sup> 散布水量：1ℓ/m<sup>2</sup>



サッチの除去  
土壌環境の健全化

## サッチクリーナー

サッチ成分のセルロース・ヘミセルロースを分解する酵素を主成分とした、酵素タイプのサッチ分解剤です。酵素そのものを散布するため即効性に優れており、サッチ分解量をコントロールすることが可能です。液剤であるため取扱いやすく、フィルターに詰まりません。農薬との混用や近接散布も可能です。土壌の透水性を改善ましょ。

土壌微生物が活発な時期になるので、微生物タイプのサッチ分解剤「サッチ・マネージャー」もおすすめです。

使用量：グリーン0.2ml/m<sup>2</sup> ラフ・FW・Tee0.1-0.2ml/m<sup>2</sup> 散布水量0.2-0.5ℓ/m<sup>2</sup>



強光ストレス予防

## インターセプト

5月にはすでに真夏並みの強い太陽光が降り注いでいます。ベントグラスにとって強すぎる太陽光は強光ストレスを引き起こす原因となります（過剰に取り入れた光により活性酸素が発生し細胞が傷つけられる）。

インターセプト処理で、強すぎる光（ベントグラスが吸収する波長の可視光、紫外線）をカットし、強光ストレスを軽減ましょ。

使用量：1000-2500倍 散布水量：100-500ml/m<sup>2</sup> 散布間隔：7-10日



高温ストレスから  
ベントを守る

## ヒートファイター

ヒートファイターは、夏の厳しい暑さをベントグラスが生き延びる為のお勧め資材です。有効成分「ゼルンボン」が細胞を刺激することで植物自体が持つ高温耐性が活性化、通常では弱体化・致死してしまう程の高温でも生き延びられるようになります。梅雨明け前からの予防処理で、ヒートファイターの効果を最大限得られます。

使用量：0.5ml/m<sup>2</sup> 散布水量：100-500ml/m<sup>2</sup> 散布間隔：14日



土壌中の有害物質除去

## 光合成細菌

過湿状態の土壌中に発生しやすい硫化水素やメルカプタンなどは、イヤな臭いがするだけでなく根を痛めます。光合成細菌を処理して有害物質を除去ましょ。光合成細菌は硫化水素などを分解するだけでなく、他の有用微生物の餌となるアミノ酸やATP、ADP（高エネルギーリン酸化合物：補酵素）などを分泌し、有用な土壌微生物の住みやすい環境を作ります。サッチ分解剤と組み合わせると、サッチを効率よく分解できます。

使用量：1~2ml 1ℓ/m<sup>2</sup>散布 月1~2回

台風や梅雨の長雨に加え、ゲリラ豪雨や線状降水帯など短時間に大量の雨が降る頻度が増えています。早い地域では5月中に梅雨入りする所もあり、早めの過湿対策が欠かせません。今回は土壤の過湿状態が芝生の生育に悪影響を与える原因と対策について紹介します。

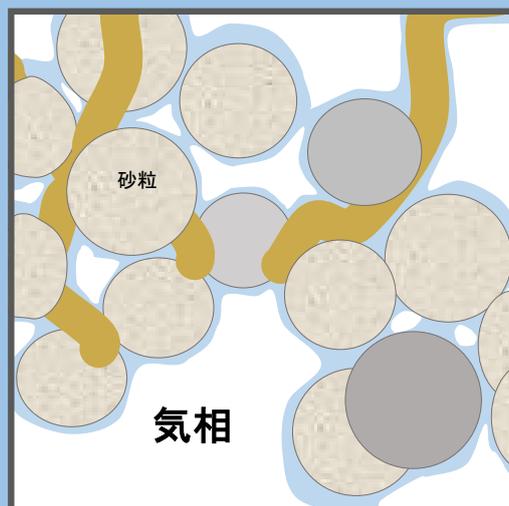
土壤中の  
水の状態

## 過湿状態の土壤



土壤の間隙が水で満たされている

## 適度な土壤水分の土壤



土壤全体に空気が確保されている

土壤中の  
酸素の量

土壤中の酸素が少なく酸欠状態

土壤中の酸素が多く  
土壤全体に分散している

根の呼吸の  
状態

酸欠状態では根が呼吸を行えない  
↓  
わずかなエネルギーしか生成できない

**グルコース(糖)→40kcal+2ATP\***

\*ATP(アデノシン三リン酸)  
生物(植物)が必要とするエネルギーが保存される物質。

根が呼吸を行う  
↓  
多くのエネルギーを生成

**グルコース(糖)+酸素→686kcal+38ATP**

参考: 植物生理学入門

## 過湿による酸欠時→糖のエネルギー効率が非常に悪い！

過湿状態による無呼吸時には、酸素呼吸時のわずか6%程度しかエネルギーを生成できません。この状態で酸素呼吸並みのエネルギーを確保するには、約17倍のグルコース(糖)が必要です。梅雨時期には日照不足も重なりエネルギー不足になりやすく、芝生は消耗してしまいます。

### おすすめの対策

界面活性剤やサッチ分解剤による過湿状態の改善や、糖やアミノ酸によるエネルギー補給を行い梅雨明けの急激な気温上昇に備えましょう。

